

2022年6月15日

コニカミノルタ、X線動画像のデジタル症例集撮影を活用したデジタル症例集「DDRAtlas Ver. 1.0」を公開

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区）は、X線動画撮影を活用したデジタル症例集「DDR (Dynamic Digital Radiography) Atlas」の第1弾として正常例を収録した「DDRAtlas Ver. 1.0」を会員制Webサイトにて6月25日に公開する。

このデジタルX線動画撮影システムは2018年の発売以来、国内外の大学病院を中心に100台以上が稼働し、「単純X線検査は静止画撮影」という従来常識を変えて臨床研究とその応用は着実に拡大しつつある。また、放射線科や呼吸器内科に留まらず呼吸器外科、循環器内科、整形外科、最近ではワイヤレスX線動画撮影を可能とした回診用X線撮影装置「AeroDR TX m01」の発売により、集中治療や救急など多様な診療科から様々な有用性が示唆され、学術論文も国内・海外論文合わせて約40編以上が発表されている。

このような実績を踏まえ、コニカミノルタは、デジタルX線動画撮影システムを医師の診療に大きく寄与できる新しい診断機器としてより多くの医療現場に普及させるため、診断基準の根幹となる正常例を含むデジタル症例集「DDRAtlas」の構築に着手し、この度、その成果の一端である「DDRAtlas Ver. 1.0」を公開する。

同社では、今後この「DDRAtlas」により、X線動画撮影を活用した診断をサポートし、一般X線撮影における新たな動画像診断の確立を目指すとしている。